

平成 28 年 12 月 6 日

各位

日本文理大学校友会 事務局

日本文理大学 一木祭が開催されました

2016 年(平成 28 年)10 月 15 日(土)、16 日(日)に日本文理大学 第 49 回一木祭が行われました。今年のテーマは「環(わ) ～こころをひとつに～」。

卒業生、教職員 OB、学生、地域の方々など多くの方が来場し、準備していた臨時駐車場がすべて満車になるほど、ここ数年では最も多くの来場者となりました。

一木祭は単に学生のお祭りというだけではなく、10 年ほど前の大学創立 40 周年から地域の方に大学をもっと知ってもらい交流の場としての役割を担うよう変わってきました。特に、本学で行っている教育を体感できるような企画・展示などに取り組み、家族連れの来場者が多くみられるようになりました。大学の周辺は、近隣の小学校が児童数日本一になるなど、若い世代の人口増加が著しい地域となり、このような取り組みは大変好評を得ています。

(以下はその一例)

- ・小学生お仕事発見ランド
- ・各学部・学科の研究・教育をいろいろな世代が体感・体験できる展示
- ・3D プリンタやレーザカッターなどによるものづくりや、プログラミング教室

また、近年各地で発生する自然災害を受け、防災教育の一環として自衛隊などの協力を得て以下の取り組みを行っています。

- ・災害支援の展示
- ・災害支援車両および緊急車両等の展示

近年特に女子学生の姿が増え、女子学生だけの模擬店が出店するなど、雰囲気も華やかに盛り上がりを見せています。毎年 10 月中旬に開催しますので、ご家族、ご近所の方々、懐かしいご友人などをお誘いあわせのうえ、ぜひこうした機会に母校へお越しください。

来年は大学創立 50 周年、記念すべき年にどのような企画で皆様をお迎えできるか楽しみです。

以上



【働くクルマ展示】消防車・パトカー、自衛隊の災害支援車両など、普段乗ることができない乗り物に子供たちも大興奮。



【お仕事発見ランド】医療技師のお仕事を体験中。職業を実際に体験することで、将来の目標が明確になります。



恒例の沖縄県人会によるエイサー演舞。地謡に合わせて披露する太鼓打ちや手踊りは観客を魅了していました。



お笑いLIVEでは、野外ステージの観客席を埋め尽くすほどの来場者がありました！会場は終始興奮に包まれました。



機械電気工学科の展示。ロボットアームを操作してお菓子のつかみ取りを体験。操作を丁寧に指導する学生の姿がありました。



【ものづくり教室】自分のデザインした歯車をレーザーカッターで製作。形ができていく様子に興味津々の様子。



サークル・部活動・ゼミ単位等で模擬店が多数出店。準備から販売、後片付けまで共に行うことで、仲間意識を高めました。



一木祭でのゴミの少量化を目指し、分別を徹底。学生自ら地球環境問題に取り組み、来場者の意識も年々高まっています。